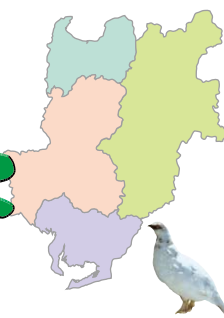




国民の森林・国有林

広報

# 中部の森林



中部森林管理局

〒380-8575長野市大字栗田715-5

☎050-3160-6513

<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>

## 平成24年度 中部森林技術交流発表会



優秀賞受賞者（国有林部門）（局長、審査員とともに）

## 平成24年度中部森林技術交流発表会

### 国有林・学生の研究成果等20課題が発表される

主な項目

- 平成24年度中部森林技術交流発表会を開催 ..... P2~4
- カラマツ黄葉写真コンテストについて ..... P4~5
- 風景紀行「冬の浅間山、八ヶ岳」 ..... P8

**研究成果や日頃の取組みを発表**  
 ～中部森林技術交流発表会～

【指導普及課】一月三十日から三十一日  
 に向け、中部森林管理局大会議室におい  
 て、「平成二十四年度中部森林技術交流  
 発表会」を開催しました。

この発表会は、管内（富山県、長野  
 県、岐阜県、愛知県）の国有林及び民有  
 林の行政機関、大学、高校、団体等が、  
 森林・林業に関する試験研究、林業体  
 験・森林ふれあい活動等日頃からの取組  
 みの発表を通じて交流を図り、地域にお  
 ける森林・林業の推進と普及に資するこ  
 とを目的として毎年開催しているもので  
 す。今年には国有林関係から十三課題、学  
 校関係等から七課題、合わせて二十課題  
 が発表されました。

開会に当たり、鈴木局長から『国有林  
 野事業の一般会計化により、国有林の役  
 割は、より一層の公益的機能の発揮と、  
 民有林の支援を通じた日本林業の再生に  
 貢献することとなる。現在、日本林業再  
 生に向けた造林・林道・生産コストの低  
 減、増え続ける野生鳥獣被害に対する対  
 応、さらには希少野生動植物に配慮した  
 治山工事の実施等たくさん課題を抱えて  
 いるが、我々は日々違う現場で物事を  
 見て、急速に変わる世界の流れも踏まえ  
 て考えなくてはならず、現場に根ざした  
 技術・知識が無ければこうした仕事を全  
 うすることはできない。本日は、日頃か

ら実施してきた技術の研究成果を披露し  
 技術の向上を図る場としていただきた  
 い。』との挨拶がありました。



鈴木局長の開会あいさつ

その後、国有林関係から、民・国連  
 携、森林整備、国土保全などの幅広い分  
 野から、民有林関係者と共同で取り組ん  
 だ事例や、地域の意向調査なども行つて  
 考察した課題などの発表が行われまし  
 た。

二日目は、名古屋大学大学院、信州大  
 学、長野県林業大学校、木曾青峰高校、  
 加茂農林高校、飛騨高山高校の学生さん  
 方が独自に着目して掘り下げた課題や、  
 地域住民との共働した取組の成果など、  
 それぞれの勉学の成果が発表されまし  
 た。

二日間の発表終了後、計画部長から国  
 有林の部の優秀賞三課題が発表されると  
 ともに、各課題の着眼点や効果、今後進  
 めてもらいたい方向などについて、名古

屋大学大学院山田容三准教授と信州大学  
 農学部加藤正人教授から講評をいただき  
 ました。

今回は、発表者・傍聴者等を含め約  
 二百五十名の参加者により盛大に開催さ  
 れたところで、今後とも森林・林業技術  
 の推進と普及に向け、各署等での技術開  
 発、森林ふれあい活動、地域との連携な  
 ど、民有林関係者との共働・協調を強め  
 つつ、積極的に取組んでいくことにして  
 います。

発表者、課題名及び受賞者は次のと  
 りです。



発表の様子

南坂博和、志賀剛（中信署）、百瀬俊  
 一（横山木材有限会社）



中信署の南坂さん、志賀さんと横山木材の百瀬さん

・木曾谷流域における民・国連携による  
 林業再生への取組み（准フォレストア  
 ーの取組み）  
 市川久志（木曾署）、渡邊修（森林整  
 備部）



木曾署の市川さんと森林整備部の渡邊さん

**国有林の部**

**◎局長賞 優秀賞**

・民間競争入札による間伐事業の取組み  
 について

- ・飛騨森林管理署における共同施業団地の現状と課題（高山市一色・山中地域森林共同施業団地の事例）
- 伊藤納、日置順昭（飛騨署）



飛騨署の伊藤さんと日置さん

◎局長賞 努力賞

- ・ナラ枯れ被害の拡大防止に向けた取組について
- 下城大作、山口穰（北信署）
- ・高山帯におけるニホンジカ被害対策について
- 佐田有紀（南信署）、清水篤（長野県諏訪地方事務所）
- ・台風被害跡地における景観に配慮した天然林の育成に向けて
- 上田菜由、重松千晶（東信署）
- ・木曾ヒノキ備林（旧出ノ小路神宮備林）案内の取り組みについて
- 鈴木智晴（東濃署）

- ・ヒノキ・ナラ・ホオノキの混交植栽試験（中間報告）
- 千村知博（森林技術センター）
- ・周辺植物の侵入と定着を目的とした植生工の試験施工について
- 須永道彦、可兒孝志（岐阜署）
- ・ヒノキ天然稚樹の育成過程における密度推移について
- 小川義信（愛知所）
- ・特殊な環境（豪雪・強酸性土壌）における緑化方法の模索（馬曲川復旧治山工事）
- 澤口章一（北信署）、田中賢治（国土防災技術株式会社）、井野友彰（タフグリーン工法研究会）
- ・「安曇野まつかわ馬羅尾高原郷土の森」協定締結を生かした村づくり―すずむしとあがりこサワラ〜郷土のシンボル〜自然豊かな村を目指して―
- 矢部博文、鎌倉浩一（中信署）、原勇一（松川村役場）
- ・複層林における主伐（後伐）実施時の下層木への影響調査結果について
- 早川幸治（森林技術センター）、富士本亜弥（東濃署）

■学生の部 (局長奨励賞)

- ・森林美学の視点からの森林経営管理
- 奥山綾菜（名古屋大学大学院 修士課程一年）
- ・作業道作設時の伐根処理作業における要素作業の分析

- 村井秀成（信州大学 農学部四年）
- ・ケヤマハンノキの落葉特性について
- 森谷周平、鳥澤京平（長野県林業大学校一年）
- ・日型架線集材の現場から〜高知県の事例を中心として〜
- 三川一（長野県林業大学校二年）
- ・演習林における野生動物モニタリング調査
- 久保田潤也、下條拓、根井悠斗、川上豪（長野県木曾青峰高等学校 森林環境科三年）
- ・地域の里山環境は私たちが変える〜里地・里山システムのrecovery〜
- 奥田彩乃、馬場安美（岐阜県立加茂農林高等学校 林業工学科二年）
- ・飛騨の里山の危機を救え！〜ギフチョウの舞う開かれた里山の再生と活用〜
- 坂下愛（岐阜県立飛騨高山高等学校 環境科学科二年）、踏込龍生（同校一年）、中嶋大喜（同校三年）

◆発表会の一コマ



名古屋大学大学院 奥山さん



長野県林業大学校 三川さん



長野県林業大学校 森谷さん、鳥澤さん



信州大学 村井さん



飛騨高山高等学校  
坂下さん、踏込さん、中嶋さん



加茂農林高等学校  
奥田さん、馬場さん



木曾青峰高等学校  
久保田さん、根井さん、川上さん



講評を行う信州大学加藤教授



講評を行う名古屋大学山田准教授



審査員の皆さん

### カラマツ黄葉

### 写真コンテストについて

(審査結果)



「総務課広報」 信州の秋風景になくはならないカラマツの黄葉ですが、カラマツを木材資源としてだけではなく、観光資源としても評価してもらうため、中部森林管理局と長野県との共催により「カラマツ黄葉写真コンテスト」を実施しました。

長野県内をはじめ、遠くは大府の方からも応募があり、応募作品数は百九十点となりました。厳正な審査を経て入賞作品が決定しましたので紹介します。

なお、入賞作品及び応募作品については、長野県の観光PRにも資するため、長野県内をはじめ首都圏での写真パネルの展示や、観光パンフレット等への掲載等、広く活用を検討していくこととしています。

#### 一 入賞作品

最優秀賞 (中部森林管理局長賞)

井上 良二「黄金色に輝く」

優秀賞

(長野県林務部長賞)

谷平 久芳「雪時雨」

(信州・長野県観光協会理事長賞)

井出 利久「霧の大望峠」

(日本森林林業振興会長野支部長賞)

吉田 勝「晩秋の黄葉」

(長野県森林組合連合会長賞)

宮坂 誠「輝く」

(長野県木材協同組合連合会理事長賞)

遠山 達雄「カラマツ万歳」

(長野県林業団体協議会長賞)

星野 吉晴「八ヶ岳山麓の秋」

(長野県県産材振興対策協議会長賞)

鈴木 秀樹「燦く」

(国有林観光施設協議会長賞)

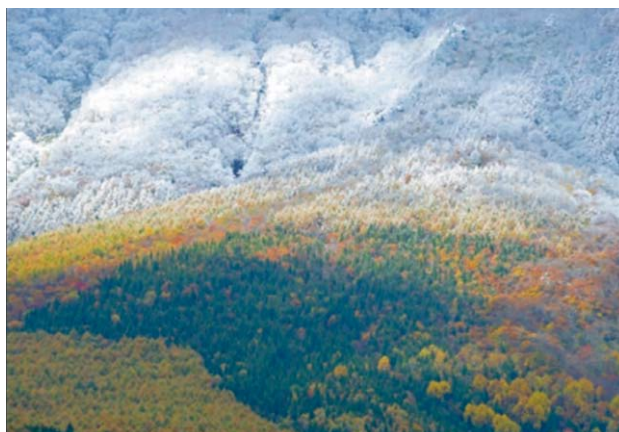
三原 進「晩秋の焼岳山麓」

#### 二 入賞作品の紹介

最優秀賞は、佐久市の井上さんが小諸市で撮影した「黄金色に輝く」、長野県林務部長賞は、大阪府の谷平さんが信濃町で撮影した「雪時雨」です。



最優秀賞「黄金色に輝く」



長野県林務部長賞「雪時雨」

この他の入賞作品は、中部森林管理局ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

### スキー場に「みんなの森林国有林コーナー」を開設

〔指導普及課〕 森林環境教育については森林教室・体験林業の実施など各署等で取り組まれています。指導普及課では冬期間における事業推進の観点から、一月二十日（日）に長野市の戸隠スキー場で「みんなの森林 国有林コーナー」を開設しました。

長野市及び戸隠スキー場の協力をいただき、多目的施設「ゲストハウス岩戸」

の無料休憩所の一角をお借りして、森林の働きや国有林野事業を紹介したパネルの展示、戸隠の自然を題材にして作成した教材「戸隠流森の冒険ブック」の紹介と併せ、木工クラフトの無料体験を行い、県内外から訪れたスキー客に利用していただきました。



木工クラフトの体験は大人気

当日は小学生以下のリフト料金が無料となるイベント日で、また、天候に恵まれたこともあり、展示物の見学のみならず、小学生や保護者等が木の枝等を利用して人形やペンダント作りに参加され、時間が経つのも忘れるほど創作活動に専念していました。参加された子どもたちからは「楽しかった」の声がかれた一方で、「スキーをしている子どもを待っている時間が有意義に過ごせました」と



贈呈した教材とクラフトを手に

の保護者からの感想も寄せられました。今年度初めての取り組みですが、ご来場のお客様には、スキー等のレクリエーションと併せて森林・林業や自然環境等への関心を深めていただくとともに、わずかながらも地域振興の一助になればと考えております。

今回は、二月二十四日（日）に飯山市の戸狩温泉スキー場での開催を予定しています。

### 国有林間伐推進コンクール

#### 信州上小森林組合が

#### 林野庁長官優秀賞を受賞

〔販売課〕 国有林間伐推進コンクールは、国有林野事業における円滑な間伐の推進等を図ることを目的に、平成十四年度から実施しており、二十四年度も林野

庁で国有林間伐推進コンクールの募集が行われました。

当局では、六月から募集を行い五事例の応募があり審査の結果、北信森林管理署で実施の長野森林組合、東信森林管理署で実施の信州上小森林組合、飛騨森林管理署で実施の有限会社三進造林の三事例を局長賞に選定、その三事例について林野庁長官に推薦したところです。

林野庁では十二月に審査が行われ、信州上小森林組合の「ロングアームハーベスタの活用等高性能林業機械の組合せによる間伐生産性の向上」事例が高性能林業機械を積極的に導入し、それを作業システムへ効率的に組みあわせると共に専門のオペレーターを配置して、生産性の向上と低コスト化を実現したことが高く



ロングアームハーベスタによる集材状況

評価され優秀賞を受賞することとなりました。

この受賞により当局から推薦した事例は、平成二十年度から五年連続で林野庁長官賞を受賞したこととなり、各事業体が積極的に低コスト作業システムに取り組んでいるところで、これらの事例を参考に、更に多くの事業体へ低コスト作業システムの普及・定着することが期待されるところでです。

今回は、最優秀賞に九州局の久大林産株式会社の「フェラバンチャー付きグリップバケットを活用した、森林作業道の先行伐倒と路網作設の一体実施による生産性の向上」、優秀賞のもう一事例に北海道局の株式会社小玉「ハーベスタとフォワーダのフル活用による生産性の向上」の事例が選ばれました。



日高東信署長(左)から  
大久保組合長へ賞状を授与



上高地談話会会場の様子

### 各地からのたより

#### 上高地談話会が開催される

【中信署】二月三日、信州大学理学部C棟二階大会議室において、第十八回上高地談話会が開催されました。

この談話会は、信州大学山岳科学総合研究所が、我が国が世界に誇る景勝地の一つである上高地を、将来の世代に引き継ぐためにはどうすればよいのかを考えることを目的に開催したもので、今回は当局から鈴木局長が「上高地国有林の今昔と課題」、松本砂防事務所判田乾一所长が「上高地の防災対策と危機管理」、長野自然環境事務所小沢晴司所长が「国立公園上高地の保全と利用」といったテーマで講演を行いました。



上高地国有林の今昔と  
課題について話す鈴木局長



国の3機関のトップが講演

過去には、上高地国有林を管轄する中信森林管理署長がこの談話会で講演したことがありましたが、今回のように上高地に関わる国の機関のトップが揃って講演する機会はなかなかなく、参加した百二十名からは大変意義のある談話会となったとの感想が聞かれました。



会場に展示した写真パネル

また、今回の談話会には、カラマツ黄葉写真コンテスト入賞写真・上高地写真パネルを展示する取り組みも併せて行い、多くの参加者に写真をご覧いただくことができました。

### シリーズ 「森林官からの便り」

#### 【南木曾支署柿其森林事務所】

栢木洋平 森林官

柿其森林事務所は、長野県南木曾町にあり、木曾川の右岸側にある国有林の柿其国有林、三殿国有林、田立国有林のおよそ五、四〇〇畝を管理しています。

管内の国有林の特徴は、ヒノキを主とした人工林が全体の五八%、残りが木曾

(7) 平成 25 年 2 月

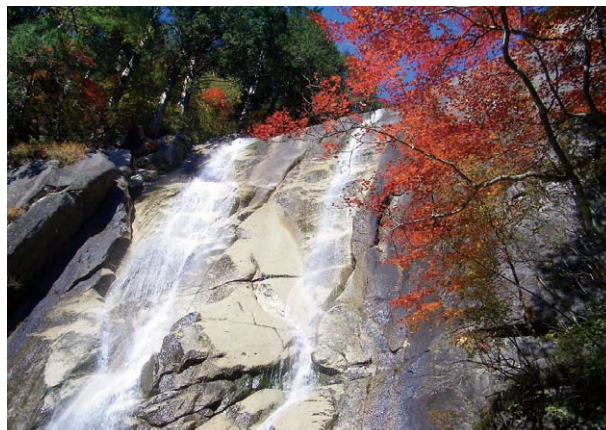


天然公園「湿地帯」

檜を主とした天然林になっています。約半分が天然林で構成されていますが、岐阜県境の保残帯を中心とし、一部を県立公園にあたる「田立の滝風致探勝林」で構成されていますので、人工林を中心とした施設を行っています。

木曾川沿いの三殿国有林に南木曾町を一望できる「伊勢山」登山道、北側になる柿其国有林の「柿其溪谷」から、岐阜県川上境にある湿地帯の「天然公園」を抜け、南側の田立国有林の「田立の滝風致探勝林」までと遊歩道が整備されており多くの方が訪れます。特に「田立の滝風致探勝林」は平成二十年から二十二年までの治山工事による通行規制が解除され多くの登山者で賑わっています。

当事務所には、現場業務に精通した基幹作業職員六名が在籍しており、各種調



田立の滝「天河滝」



現場班員が整備した避難小屋

査や巡視等、臨機応変に人数を振り分けて効率的かつ安全に業務を行っています。近年の作業は田立の滝の通行規制が



伊勢山より南木曾町三殿地区を望む

解除されたことに伴う入林者の増加から、歩道の整備に力を入れています。歩道整備の他にも遊歩道が国有林の奥地まで入っており、緊急車両の到着が遅れることが懸念されるため、現場班の休憩所を整備し緊急の避難小屋として解放しました。

また、冬期間も田立の滝はアイスクラミングの方がおり、年間を通して入林者が一定数いますので、巡視活動や声かけを積極的に行い、入林者の安全確保に努めています。

柿其溪谷から田立の滝まで歩くのは大変ですが、半日程度で渓谷や滝などの景観を楽しむこともできますので、是非お出掛けください。

人のうごき

中部森林管理局人事

十二月三十一日付

▽退職（局総務部経理課付）

水野 利彦

▽退職（東信署佐久平森林事務所首席森林官）

飯島 一成

基幹作業員職員人事

十二月三十一日付

▽退職（東信署相木森林事務所）

菊池 庄二

行事・会議等の予定

◎治山・林道工事コンクール

3月6日 長野市

◎森林ふれあい講座

3月16日 瀬戸市（森林交流館）



冬ならではの風景から

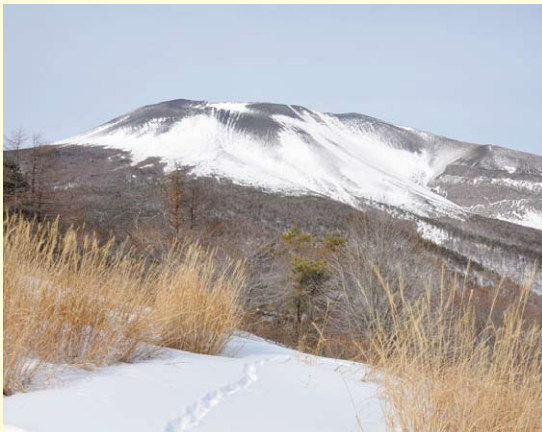
ふう けい き こう  
**風景紀行**  
**冬の浅間山**  
**八ヶ岳**  
 94  
 東信森林管理署  
 (各署の景勝地等を紹介)

「東信署」東信森林管理署管内は、八ヶ岳、浅間山、美ヶ原高原、湯の丸高原等魅力的な観光地が多く、春から秋にかけて管内の山岳、高原等には首都圏をはじめとし全国から多くの観光客が訪れます。冬期間は数多くあるスキー場に観光客は集まりますが、こうした場所を一步離れると、場所によっては氷点下一五度以下にもなる長野県内でも有数の寒さが厳しい自然環境から、静かなたたずまいとなります。

しかし、こうした厳しい自然環境だからこそ、浅間山、八ヶ岳等では冬ならではの風景を見ることが出来ます。今回はそんな管内の一部を紹介させていただきます。

◆石尊山

浅間山の中腹に位置する標高一六六七・七の小さな山で、遠望すると浅間山の大きな山麓に溶け込みはつきり見えない山ですが、里から近く、手軽なトレッキングコースとして親しまれ、山頂から



石尊山から浅間山を望む (冬)



石尊山の山頂 (夏)

の浅間山、佐久平の眺めは大変すばらしいものがあります。また、天皇ご一家が軽井沢の静養の際たびたび訪れる山としても知られています。登山道の途中にある赤滝(血の滝)で

は、水中に多く含まれる鉄分が空気に触れ、茶色く濁った水が流れています。その上流にある源泉では、まだ空気にあまじり触れていない透明な水を見ることができ、自然の面白さを感じさせられます。

◆八岳の滝

八ヶ岳山麓には、豊富な地下水等により多くの湖水、滝等が存在します。とりわけ滝は、夏は豊富な水量からダイナミックな姿を見せますが、冬は厳しい寒さの中で、全体が凍りつき、青く神秘的な氷瀑の姿を見せてくれます。この滝は、小海町松原湖から稲子湯に向かう途中にあります。国有林は比較的奥地であり冬期間は交通アクセス等厳しい状況もありますが、他にも溪流等が凍りつき思わぬ景観が楽しめる箇所が各所にあります。また、管内民有林でも北相木村の三滝等有名な氷瀑等を楽しめます。



凍りついた八岳の滝



八岳の滝 (夏)

冬季は交通アクセス、現地駐車場等十分ではない状況ですので、他の迷惑にならないよう配慮いただき、冬しか味わえない景色を楽しんでいただければと思います。



八ヶ岳 (冬景色)

◎アクセス

〔石尊山〕

お車でお越しの場合

上信越道小諸インターから浅間サンライズを経由し、軽井沢町追分地区千ヶ林道沿いから追分コースへ、山頂までは約二時間。

〔八岳の滝〕

お車でお越しの場合

中部横断自動車道佐久南インターから国道一四一号线を南下し、小海町松原湖入口から小海リエックススキー場を過ぎ、八岳の滝バス停へ(案内看板あり)、滝までは約五分。